



日本一おもしろい灯台クルージングの開発と収益化（灯台×クルーズ）

コンソーシアム名：大間埼灯台利活用コンソーシアム

対象灯台：大間埼灯台（青森県大間町）

企画概要

事業名：日本一おもしろい灯台クルージングの開発と収益化

マグロ目当てで大勢の観光客が訪れる本州最北端の大間崎。

そこからさらに600m北の無人島・弁天島にある「大間崎灯台」は、大間崎から単に「眺めるもの」であった。

この事業では、ベテラン漁師の船でしか近づくことのできないという灯台の地理的なハンディを逆手に取り、漁船ならではの「灯台ウォッチングクルーズ」を徹底的に磨き上げる。

「漁船で行くからこそ、めっちゃめっちゃおもしろい」新たな体験コンテンツを創り出し、収益事業として継続していくための体制づくりを行い、大間崎での定番アクティビティーに育てる。



持続可能な事業に育てるため 運営体制、販売体制を整備

漁船クルージングならではの面白さを磨き上げ、大間崎での定番アクティビティーへと育てていく。運営・販売体制の整備、パートナー漁船とガイドも開拓。

収益事業化に向けて PRツールや記念グッズを整備

クルーズのワクワク感を伝えるためのPR動画やPRサイト・ツールを整備する。物販によって収益性を高めるため、乗船記念グッズなどの開発を行う。

コアなファンやサポーターと のコミュニティを形成

継続的に大間崎灯台を訪れてくれるコアなファンや事業の応援者との接点を作るため、ディープなモニターツアーを実施。インスタグラムを活用し、コミュニティを形成する。



「船でしか行けない」を逆手に

「船でしか行けない」というハンディを逆手に取って、「船だからこそめっちゃめっちゃおもしろい」新たな体験コンテンツを創り出すことができる。海域を知り尽くしたベテラン漁師の漁船でしか体験できない灯台クルージングは、特別感が強く、新たな観光体験コンテンツとして広く集客力が見込める。



ベテラン漁師の副収入に

灯台（弁天島）クルージングが事業化できれば、ベテラン漁師や遊漁船事業者に新たな副収入がもたらされる可能性がある。飲食店、土産物店、宿泊施設で構成されている大間崎エリアの事業者とバッテリーしない体験型観光の新しいビジネスとなるため、既存事業者との共存、連携をはかりやすい。



クルーズ事業の成功モデルに

離島にある大間崎灯台の利活用は、今まで誰もなし得なかった。全国的にも、灯台をテーマとしたクルージングの成功例が少ない中、地理的なハンディのある灯台の新たな利活用モデルの先駆けとして、話題性が見込める。



旅行事業者と漁業者とのタッグ

企画・宣伝・旅行事業者と漁船運航事業者がコンソーシアムを組むことで、灯台クルーズを持続可能な収益ビジネスとして成立させることが可能となり、観光面における灯台の価値を広く発信することができる。



目標

Plan / 計画時点

- 2025年度中に、体験型商品としての磨き上げが完了。運営体制、宣伝・販売体制が整う。
- 2026年度から、本格的なプロモーションを行いつつ事業を実施。
- 2027年度には、収益ビジネスとして事業継続。



Do 実行 / 2025年2月時点の達成状況

- ・安全で効果的な運航コース、ガイド内容とそのマニュアル化、価格設定などを行い、大間での体験型商品として完成。
- ・パートナーとなる船長、運航に必要な許認可、設備や備品類を整備し、運航体制が整った。
- ・PR動画やツール、公式サイトが完成し、宣伝販売体制が整った。

企画運営パートナー

1

春漁丸：クルージング漁船の運航

漁業以外の新たな収入、お客を楽しませる喜び

2

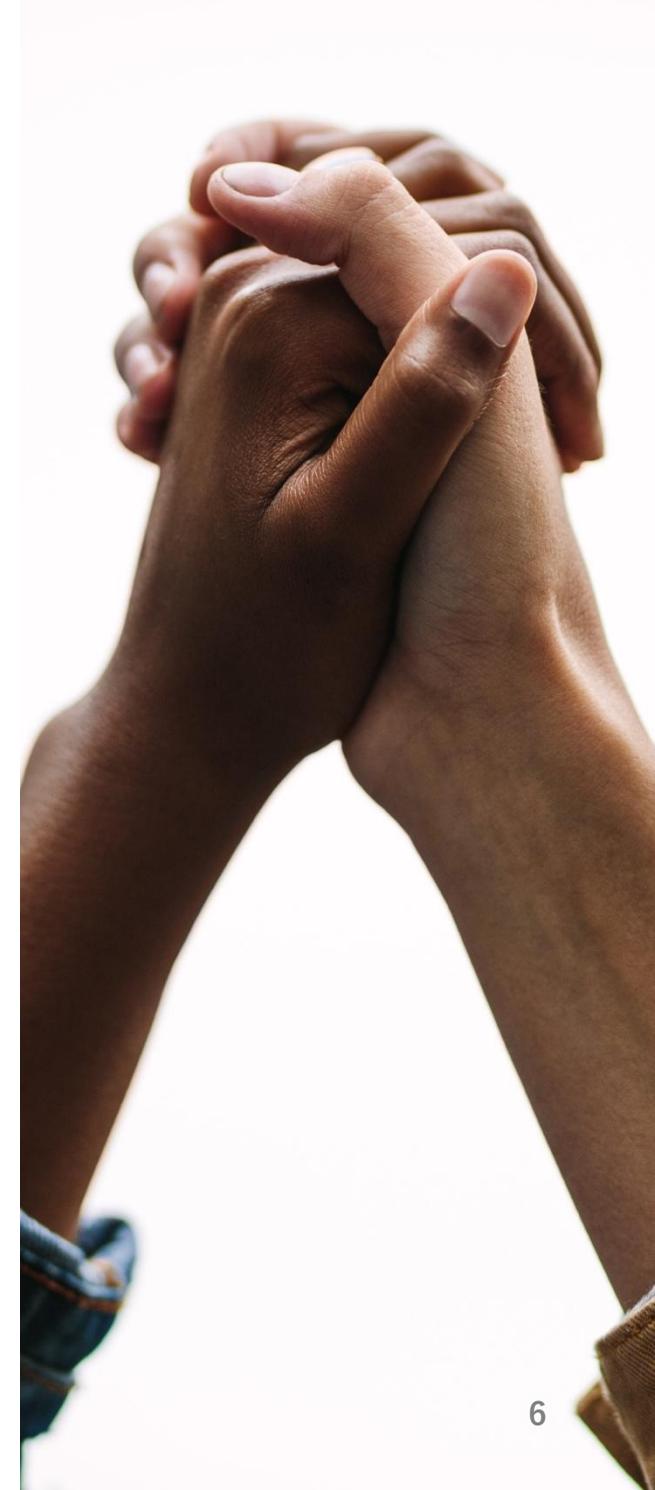
クルージングガイド

ガイド収入、お客を楽しませる喜び

3

大間崎エリアを中心とする大間町の観光事業者

訪問客数の増加、滞在時間の延長による経済効果



クルーズ船を運航するための人員体制ができたが、集客に課題

1

春漁丸 >>> 漁業と両立させてクルーズを収益事業に

ウニ漁、コンブ漁と両立できるように、運航期間や運航時間を工夫。
通常の漁業での収入にプラスで、副収入が得られる目途がたった。

2

クルージングガイド >>> 場数を踏んで、乗船客の満足度を支える

マニュアルに準じて、実際に乗船しガイドの予行練習を実施。
実地のイメージはついたが、参加者が少なかったため、実際のお客さんに向けたガイド経験は少ない。

3

大間崎エリアを中心とする大間町の観光事業者

>>> 大間崎からの送客パートナーとしてwinwinな関係をつくる

クルーズのポスターとパンフレットを店内に設置。
大間崎からクルーズへの誘導を働きかけてもらったが、観光ピーク時を過ぎてからのPRだったため、なかなか実際の申込には繋がらなかった。



👍 良かったこと

- 👍 漁業とクルーズ事業の兼業が可能な体制ができあがり、事業の要となる運航漁船の船長が見つかったこと。
収益事業と一緒に育てていくパートナー意識を持ち、資格取得や安全対策整備も前向きに取り組んでくれたこと。
- 👍 安全面からも、船長1人で運航するのではなく、船長とガイドの2人で乗船する体制が望ましいと、納得できたこと。
（先進事業視察先：1人で運航する精神的なストレスが大きいことを知った）



反省点・改善案



乗船客が少なかったため、今シーズンはほぼ収入につながらなかった。
事業継続のためには、船長とガイドとそれぞれに、ある程度の収入（1日当たり10,000円）が入るくらいに集客する必要がある。



大間崎の事業者との連携を、あまり密に取ることができなかった。Winwinの関係を模索していく。
来店客にクルーズをおすすめしてもらうため、来シーズンの始めに事業者向けの内覧体験会も実施する。

事業活動として 何をするのか

～価値を提供する源泉となる活動～

01

事業活動その1

「灯台ウォッチングクルーズ」の運営

事業活動その1：「灯台ウォッチングクルーズ」の運営

大間埼灯台のある「弁天島」を1周する アドベンチャークルーズ事業の運営

約40分のクルーズ体験プログラム。
大間埼に隣接する漁港からベテラン漁師の漁船に乗り込み、海域の難所や激しい海流の流れを体感、船上から弁天様に願掛け、解説を聞きながら大間埼灯台を360度ぐるりと鑑賞する。



乗船の記念品、おみやげ品の開発と販売

本当の本州最北端到着証明書や、乗船の思い出になるアイテム、弁天様にまつわるお守りなど、オリジナルグッズをゲットできる。



事業活動その1「灯台ウォッチングクルーズ」の運営

1 2025年8月22日～10月26日
「大間崎 弁天島クルーズ」を
運営

- ・8月22日～10月26日までの金土日、1日3便
大間崎から歩いて約10分のカラスノマ漁港発着、約30分のクルーズ
- ・定員10名
- ・当日の天候と運航状況（申込状況）を、公式サイトで発信
- ・1人あたり3000円 ※3人集まれば運航
- ・完全予約制、電話申込

↓↓↓

●3クルーズ8名の参加：青森県内3、神奈川4、札幌1

欠航率50%だったのと、3人集まらなければ運航しない設定が足かせとなった。

●アンケート：全員が5段階の最上位「とても満足」と回答

●津軽海峡の荒波イメージから、水しぶきがかかることをむしろ期待する方が多かった。

<アンケートより抜粋>

●話も面白かったのでとても楽しめました●灯台すばらしい●島上陸が叶う時はぜひ来たい●波のある時にまた来たい●波も風も灯台も、とてもよかった●日常にない体験ができました

2 乗船の記念品と
グッズを開発・販売

- ・灯台のある弁天島で採れた海藻（大間崎でしか販売していない）を記念品として採用した。
- ・白黒灯台と弁天島に生息するカモメをモチーフにしたキャラクター「しろくろゴンベ」を開発し、クルーズのキャラとして設定。ロゴ回りやTシャツとして展開した。
- ・「大間 マグロ 白黒灯台」を印象付ける缶バッジを販売した。



👍 良かったこと

- 👍 ガイド内容が評価された。海、波、風、灯台という五感を通じて味わう非日常体験プログラムが完成したという手応えを得ることができた。
- 👍 灯台マニアの方は、クルーズ目的で首都圏からも足を運んでくれることがわかった。灯台（クルーズ）が第1目的で、ついでに大間崎に立ち寄るといった経済波及効果があるを知った。
- 👍 訪れた足跡という意味で、缶バッジのような記念グッズは必須アイテムであることがわかった。



反省点・改善案



- ・下北半島への入込のピーク（お盆）が過ぎてからPRを始めたため、集客に苦戦した。
- ・ひとりでも乗船したい、という方向けの料金設定が必要。
- ・訪問客の多い大間崎からクルーズに引っぱるための動線が弱かった。大間崎の飲食店との連携を強め、「マグロを食べる」とセットでクルーズを体験してもらおうようなキャンペーンなども検討する。

02

事業活動その2

灯台ディープツアーの企画と運営

事業活動その2：灯台ディープツアーの企画と運営

灯台守経験者（海保OB）がガイド役になる、
灯台守ゆかりの民宿に泊まるなど、マニア心をくすぐるツアーを開催



事業活動その2 灯台ディープツアーの企画と運営

2025年9月20日～21日

「灯台守とめぐる！

本州最北端の灯台どっぷり旅」

を実施

- ・「大間埼灯台」だけでなく、同じ下北半島内で人気ののぼれる灯台「尻屋埼灯台」にも訪問できる、灯台マニアには一粒で2度おいしいツアーとして企画

- ・大間、尻屋と両灯台の勤務経験のある海保OBがガイド役を買ってでてくれて、さらに伝説の海保OBが灯台の見える場所に建てた民宿に泊まるという、灯台づくしのツアー内容にした。

- ・地元では全く注目されることのなかったフレネルレンズの展示場所も盛り込んだ。

- ・facebookの灯台グループページ「灯台 Lighthouse」(700名以上が参加)で告知

↓↓↓

●参加者

facebookから2名（グループ主催の辻さん：名古屋在住、神奈川在住の吉岡さん）、ユーチューバー2名、青森テレビ3名

●悪天候時のリスクヘッジも兼ねて、2つの灯台を訪問先にしたが、2日間とも天候に恵まれず、尻屋埼灯台にはのぼれない、大間ではクルーズできないという最悪の結果になった。

●参加のお2人は、灯台マニアの中でも「灯台ハンター」という、なかなか到達しづらい灯台にチャレンジする人たちだった。

<お2人のコメント抜粋>

「これほどの生の声を聴ける機会はなかった」

「灯台がもっと好きになった」

「灯台ファンを増やすのに役に立てたらいいなと心から思っている」



👍 良かったこと



むしろ行きづらい灯台が好物の「灯台ハンター」のお2人と会うことができたこと。灯台マニアの中には灯台ハンターが確実に存在していて、「弁天島に上陸して灯台に到達できる」企画であれば、達成できるまで大間まで足を運んでくれることがわかった。



ガイドをしてくれた海保OBの中川さんと、灯台ハンターのお2人、灯台ゆかりの民宿という灯台愛に溢れた人たちがつながったこと。「弁天島に渡れるまで集ろう会（仮称）」というリアルな灯台ファンコミュニティができた。



反省点・改善案



クルーズ体験などができない悪天候時の代替スケジュールを何パターンも準備をしていたが、悪天候には抗えない。
天候に左右される体験メインのツアーではなく、集まること自体を楽しめる「ファンミーティング」のような企画を検討する。

顧客ターゲットと 提供するベネフィット

メインターゲット

1 下北半島を訪れる個人客（車での移動）

- ・小学生の子どもがいるファミリー、20～30代のカップル、30～50代の親子
 - ・景勝地である大間崎の訪問を考えているが、「見る」「食べる」以外の楽しみを探している。
- 親子やカップルで、手軽に、本物の海や漁船を体感する喜びや新しい発見を共有し、旅の思い出として深く刻まれる。

サブターゲット

2 灯台に興味関心を抱いている全国の灯台マニア

- 遠くから鑑賞するしかなかった大間崎灯台を、漁船に乗ってぐるっと1周し、近くから360度堪能することができる。



行きづらい灯台を狙う「灯台ハンター」は、弁天島に上陸したい

1

<メイン>

大間崎で
マグロを食べる+○○
を求める観光客

【仮説】マグロを食べるだけでは物足りない

若者グループや、特に子どもの夏休み中の家族連れは、大間崎でマグロを食べるだけではなく、子どもも楽しめる思い出に残る何かを体験したいと思っているはず。
しかし、今シーズンのPRスタートが夏休み明けだったため、アプローチできなかった。

2

<サブ>

灯台愛あふれる
全国の灯台マニア

灯台のある弁天島に上陸できるのが、最大の価値

- ・「漁船に乗る」という非日常体験の中で、灯台を愛でることができることには、価値があった。
- ・さらに、離島である弁天島に上陸して灯台に到達できることが、灯台マニアの最大の価値であることがわかった。
- ・到達の記念になるものは、缶バッジやステッカーのようなささやかなグッズであっても、手に入れたい。
- ・収集欲を刺激するような仕掛けやグッズが好きである。

👍 良かったこと



👍 ターゲットとしていた灯台マニアの方々が実際にクルーズを体験してくれて、リアルにターゲット像が想定できるようになった。さらに生の声を聞くことができ、どんなことに価値を感じているかがつかめたこと。

👍 灯台のある弁天島に上陸することはハードルが高いが、そのハードルの高さがむしろ大きな価値になることが、わかった。



☹️ 反省点・改善案①

ファミリー層に向けてアプローチするため、子ども夏休み期間は、平日でも運航日にする。

☹️ 反省点・改善案②

親子体験会を企画して、ターゲットにアプローチしてベネフィットを探りたい。

チャネル

～顧客に事業の価値を届ける
経路、確認する経路～



認知、興味関心の獲得

- メインのターゲット向け
 - ・大間町観光協会サイト掲載とSNS発信、しもきたツーリズムサイト掲載とSNS発信
 - ・むつ市観光案内所、宿泊施設(むつ市内、下風呂温泉、大間町内)、大間崎エリアの店舗と大間町内観光施設でのチラシ、ポスター設置
 - ・メディアへのリリース
 - ・クルーズ船乗り場周辺への看板、のぼり設置
- ターゲット全体
 - ・専用ウェブサイトでの発信、Instagramでの動画発信
 - ・灯光会へのリリース、モニターツアーへの招聘
 - ・「海と灯台プロジェクト」サイト掲載

事前予約の獲得

- ・ネットでの事前予約システム、電話予約
- ・宿泊施設経由の事前電話予約

参加時の事業価値の提供

- ・顧客のカメラで、灯台とともに記念撮影→SNS投稿を促すキャンペーンなど
- ・クルーズを盛り上げる小道具の準備
- ・アンケート実施 (満足度と、DM送ってよいかのヒアリング)

再訪の促進

- ・ツアー案内などのDM発送



灯台マニアにはリーチできたが、一般観光客には届かず

大間崎への観光ピークのタイミングを逃してしまったため、観光関連施設での認知が弱かった。

1 認知、興味関心の獲得 →事前予約

- ・大間町観光協会のサイト掲載とSNS発信
- ・大間町内、むつ市内、下風呂温泉の観光関連施設にポスターとパンフレットを設置
- メディアへのリリースとクルーズ体験会の実施
- ・クルーズ船の発着場所周辺に、のぼり設置
- ・大間崎からの誘導をはかるため、レストハウスへの立看板の設置
- ◎灯台マニアfacebookグループへの参加と投稿
- ・インスタグラムで動画発信
- ・公式サイトで、当日の運航状況を発信
- 電話予約、インスタグラムでのDM予約

2 参加時の事業価値の提供 再訪の促進

- ・漁船と灯台が入るように記念撮影
- ・徹底的に白黒をモチーフとした小道具や備品を準備
- ・アンケートの実施
- ・DMなどを送ってよいかの声かけ

本日 運航中

本州最北端の地「大間崎」のさらに北、灯台のある「弁天島」をぐる~と1周する漁船の旅!

大間崎 弁天島 クルーズ

本州最北端の島「弁天島」を
漁船で ぐる~とクルーズ!

出航時間
①11:00 集合
②12:30 集合
③14:00 集合

料金
大人:3,000円
小人:2,000円

所要時間 約40分

すぐにお電話ください
完全予約制
0175-37-5073

ここから歩いて10分、車で1分のカラスノマ漁港から出航します。

👍 良かったこと

👍 大間崎の飲食店、下風呂温泉の宿泊施設は、PRツールの設置を歓迎してくれ、なくなると連絡をくれるなどPRに協力してくれることがわかった。時期を逃さず発信して、観光拠点からクルーズへの動線をつくる工夫をしたい。

👍 灯台マニアのみなさんは、「海と灯台プロジェクト」のサイトからも情報収集しており、灯台関連の情報には敏感であり伝わりやすいことがわかった。アクティブに全国を巡っているマニアが集うfacebookグループページをチャンネルに選んだことが、功を奏した。



反省点・改善案



- ・観光拠点などでの発信の時期を早め、観光ピーク時には確実に認知を狙う。
- ・観光事業者以外の地元発信を強化して、地域からも応援してもらう。
- ・動画素材に力を入れて、インスタグラムのコンテンツを充実させる。
- ・ネット上の検索上位にあがってくるような対策をとる。

顧客との長期的な
関係構築のために
実行できる施策

SNS

インスタグラムのフォロー（投稿）キャンペーンを実施し、ゆるやかなコミュニティを構築

リアルミーティング

ディープツアーと連動させて、年に1度、大間崎にて大間崎灯台ファンミーティングを開催



1 SNS

Instagramで、フォロワーキャンペーンを実施

・11月3日～25日の期間、Instagramをフォローしてくれた人にプレゼントが当たるというキャンペーンを実施。
キャンペーン告知の投稿は2000人以上が閲覧するも、フォロワー数は目標の300人に届かず。

2 リアルミーティング

灯台マニア向けのモニターツアーが、リアルミーティングに

灯台マニアが集うfacebookコミュニティから、キーマンとなるお2人がツアーに参加。
ガイド役の海保OBの方ともつながり、リアルな関係性ができあがった。



👍 良かったこと

👍 フォロワー2000人以上の先進事業者へのヒアリングで、フォロワーを増やす施策（船上での動画撮影、広告の効果）についてアドバイスをもらえた。船上でなければ見られない風景を、しっかりコンテンツにしていけることが重要であるとわかった。

👍 灯台マニアの中でも最もアクティブに灯台を巡る「灯台ハンター」のキーマンと出会うことができたこと。灯台ハンターの方々と継続的なつながりを持つための下地ができあがった。



反省点・改善案



Instagramの投稿コンテンツがあまりに少なく、フォローするだけの魅力に乏しかった。クルーズ運航のない時期も含めて投稿を充実させ、来シーズンはフォロー促進の広告を実施する。

事業に必要なリソース ～人、物、情報、許認可～

01

人、物、情報

人

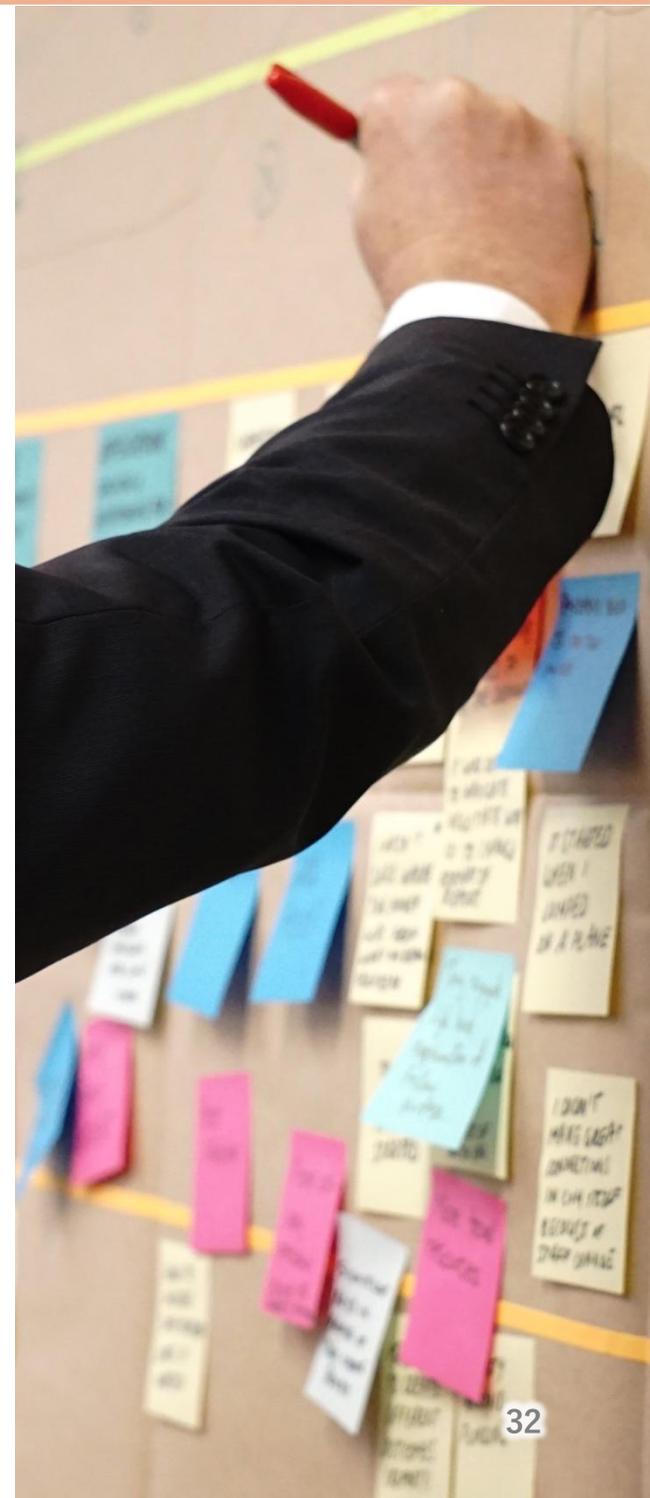
企画運営プロデューサー、運営・広報スタッフ、クルーズ船の運航責任者、クルーズ事業の安全統括管理者、クルーズガイド、クリエイティブディレクター、PR協力団体・施設・店舗

物

クルーズ漁船、知床遊覧船事故を踏まえ義務化された安全設備（法定無線設備、非常用位置等発信装置）、クルーズ用備品（ライフジャケット、客席、簡易カッパ、スタッフジャンパー、イヤホンガイド機器、音響機器、オリジナル大漁旗）立て看板、のぼり、PRツール（チラシ、ポスター、PV動画）、予約用ウェブサイト、インスタグラム、物販用商品

情報

海上運送法の改正情報、大間埼灯台の歴史と特徴、離島での灯台守業務に関する情報や物語、弁天神社や弁天島に関する情報、弁天島周辺の海流や地形や生態系に関する情報



1 人

クルーズ運営とPRに必要な人員体制が揃った

- 企画運営プロデューサーがクルーズ事業の安全統括管理者を兼ねることにし、資格を取得
- 運営広報スタッフがクルーズガイドを兼ねて、実施に乗船ガイドを試行
- クルーズ船の運航責任者を確保し、資格を取得
- 昨年度より事業に関わっているクリエイティブディレクターが、プロモーション業務全般を担う
- 大間町観光協会、(一社)しもきたツーリズムがSNS発信
- 大間町内の宿泊施設、大間崎の事業者がパンフレットとポスター設置
- 下風呂温泉、むつ市内の宿泊施設と観光施設が、パンフレットとポスター設置

2 物

クルーズ船の運航とPRを継続的に行うための物品が揃った

- クルーズ漁船確保
- 義務化された安全設備（法定無線設備、非常用位置等発信装置）設置
- クルーズ用備品完備：ライフジャケット、客席、簡易カッパ、スタッフTシャツと帽子、ガイド用機器、旗、白黒コーン
- PR用備品完備：立て看板、のぼり、PRツール（チラシ、ポスター、PV動画）船上用カメラ、公式ウェブサイト、SNS（インスタグラム）、物販用商品

3 情報

クルーズ事業を継続的に行うために必要な情報が揃った

- 海上運送法の改正情報は、東北運輸局と青森運輸支局より取得
- 調査事業により取得済み（大間崎灯台の歴史と特徴、離島での灯台守業務に関する情報や物語、弁天神社や弁天島に関する情報、弁天島周辺の海流や地形や生態系に関する情報）

👍 良かったこと



- 👍 安全対策の義務化へ対応することができて、事業継続に向けて盤石の体制ができたこと。
- 👍 同じ津軽海峡で先進的にクルーズ船の運航を行っている事業者を訪問し、安全対策や事業運営に関わるヒントやアドバイスをもらえたこと。



反省点・改善案



- ・ 白黒灯台と一緒に撮影する際、お客さんに身に付けてもらって灯台と白黒シンクロできる小物が思いつかなかった。
- ・ ポスターがA3サイズだと目立たなかった。

02

許認可

許認可

東北運輸局

人の運送をする内航不定期航路事業申請

青森県自然保護課

国定公園内に看板やのぼりを設置する際の届出

1 東北
運輸局

事業実施するための事業申請を完了

本事業の運航形態に合わせて、人の運送をする内航不定期航路事業の修正の届け出を行った。

2026年4月以降、法改正後の「一般不定期航路事業」へ移行申請を行う。

2 青森県
自然
保護課

申請なし

看板の設置は見合わせ、のぼりはクルーズ船が発着する漁港に設置したため、申請は行わなかった。



メディア露出

のべ9媒体

弁天島一巡 荒波クルーズ

大問 大間町の大間崎近くの漁港から漁船に乗って弁天島を約30分〜一巡りする遊覧事業が22日、スタートした。主催する地元

有志による「大間崎灯台活用コンソーシアム」は「日本一おもしろい灯台クルージング」と売り込んでいる。10月26日までの金、土、日曜に運航する。(本間善幸)

地元有志、事業スタート

コンソーシアムは弁天島に立つ大間崎灯台を観光資源として活用する。クルージングが事業として最終的に確立するため、昨年発足。日本財団「海と灯台プロジェクト」の助成を受け「突端」1921(天正10)年



大間崎灯台の立つ弁天島を一巡りするクルージング。津軽海峡の潮の速さを体感できる



白黒ツートンカラーが特徴的な大間崎灯台。弁天島に近づくにつれて岩場が目に入る

大間崎灯台 観光PR

ラ石と呼ばれる弁天島の岩陣付近は巨岩が立ち並び、クルージングの船の「音浪(サウンドウェーブ)」の傳法艦隊長は「船が止まると、そのままだと操縦の難しさを語った。島さんになり、大間崎に来たら弁天島クルーズを味わって」といった定番のコメントになれはと話した。完全予約制。問い合わせは電話0175-990728。

に点灯を始めた大間崎灯台は昭和25年、白黒の速い。ベテラン漁師でソートンカラが特徴的所というハンディを選手98年に海上保安庁に運日本一の灯台50選に選ばれた。弁天島は本州最北の大間崎からわずか600メートル。アルスマッシュを体感できる大間町の灯台クルージングとして企画し



◆8月27日付「東奥日報」
→web東奥
→YAHOOトピックス



◆10月10日「海と日本プロジェクトin青森県」



◆8月28日 青森テレビ「昼のニュース」
→YAHOOトピックス

◆9月4日 青森放送ラジオ「らじすくエア」





【大間埼灯台】灯台守とめぐる！本州最北端の灯台どっぷり旅(モニターツアー) 弁天島【青森県大間町】8K空撮あり


ゆきと支配人 青森網羅_YukitoManager
 チャンネル登録者数 1.39万人

[メンバーになる](#)
[通知](#)

[👍 16](#)
[🗨️](#)
[🔄 共有](#)
[🔖 保存](#)
[✂️ クリップ](#)
[📄 オフライン](#)

419 回視聴 3 か月前 #最北端 #灯台 #マグロ丼

◆10月6日 YouTube 「ゆきと支配人」チャンネル

[日本語](#) | [English](#) | [中文\(繁體字\)](#)



ホーム	大間まくら	年間行事	観光	グルメ	旅の宿	おみやげ	交通アクセス	お問い合わせ
Home	Oma Y. Tama	Event	Tourist Information	Food	Accommodation	Shopping	Transportation	Inquiry

お知らせ > 大間崎から見える弁天島をぐる〜とクルーズが、始まりましたよー！

大間崎から見える弁天島をぐる〜とクルーズが、始まりましたよー！

2025.8.22



本州最北端の地・大間崎から、さらに600m北にある本州最北端の島「弁天島」。しろうろ灯台で親しまれている大間崎灯台が、くっきり美しくそびえています。大間崎から眺めるしかなかったこの弁天島を、漁船に乗ってぐるっと一周できるクルーズ体験が始まりました！10月26日までの金土日に実施です！

◆大間崎弁天島クルーズ
 運航日：8月22日～10月26日までの金土日 ※完全予約制
 企画・運営：Yプロジェクト㈱
 詳細は、こちらから

アーカイブ

月を選択

カテゴリー

- 未分類
- メディア掲載
- 大間町ネタ
- イベント情報
- 大間のつれづれ
- お知らせ
- 店・飲食情報
- 下北半島
- イベントレポート

[店舗一覧](#) | [プライバシーポリシー](#)

\\ FOLLOW US /



大間観光情報サイト Official Oma Tourism Website **大間わいどアップ**

©大間町観光協会 All rights reserved.

◆8月22日 大間町観光協会 公式サイト「大間わいどアップ」

今後について

A. 事業について

課題

大間ならではの体験コンテンツは完成したがターゲットに届いていないため、集客につながらない



今シーズンは、観光のピークを逃してしまったため、大間崎までは来ている観光客にアプローチすることができなかった。特に、メインのターゲットとなりうる夏休みの親子連れに、クルーズ情報を届けることができなかった。さらに、大間崎の事業者や周辺の宿泊施設などとの連携も弱かったため、集客につなげることができなかった。

施策

- ◎シーズン始めに事業者向けの内覧体験会を行い、クルーズ紹介キャンペーンをするなど連携を深め、観光オンシーズンに、確実にクルーズの情報が行き渡るようにする。
- ◎観光系のユーチューバーを招聘したり、夏休みの親子向け体験会を行うなど、ファミリー層や若者も楽しめるアクティビティーであることを印象づけるPRを行う。

B. 実施体制について～熱量をもった主体となる団体や個人を巻き込むこと～

課題

取組みを応援してくれる行政関係者やボランティア精神をもったサポーターが必要



収益事業にこだわるあまり、行政関係者やボランティア的に関わってくれる可能性のある人たちを巻き込みできなかった。自走に至るまでの苦しい期間を助けてもらうための人材にも、アプローチする必要がある。

施策

- ◎地元発信を強化して、サポーターを募ったり、口コミでおもしろさを広めてもらう。めばしい人に、実際にクルーズを手伝ってもらう。
- ◎下北ジオパークの中に、体験プログラムとして大間崎クルーズを組み入れてもらう。

C. 収支について～運営費と収益を将来にわたって均衡させること～

課題

船長とガイドそれぞれに副収入があり、運営窓口が継続できる売上を立てる



金土日だけ3人集まれば運航という今シーズンの運航体制だと、収支均衡がはかれるほどの集客は到底見込めない。欠航にするやいなやの判断のタイミングも工夫して、とにかく稼働日を増やす努力が必要。

施策

- ◎とにかく稼働を増やす。
 - ・休日だけではなく、夏休み期間の平日も運航日にする。
 - ・1～2名の場合でも運航可能な料金体系にする。
 - ・運航ダイヤを見直す
 - ・欠航判断は、前日ではなく当日の朝に行う。
- ◎クルーズ船で弁天島に上陸できる、付加価値の高い別プランを設定する。

観光目的で大間を訪れるお客さんは、ほぼ全員がマグロを食べます。
このクルーズがマグロと並ぶくらいの大間でのマストな体験になることを目指します。

【今後の計画】クルーズを、大間崎の定番アクティビティーにする！

ゴールは、大間に行ったら「マグロを食べて、海に出る」が定番になる日

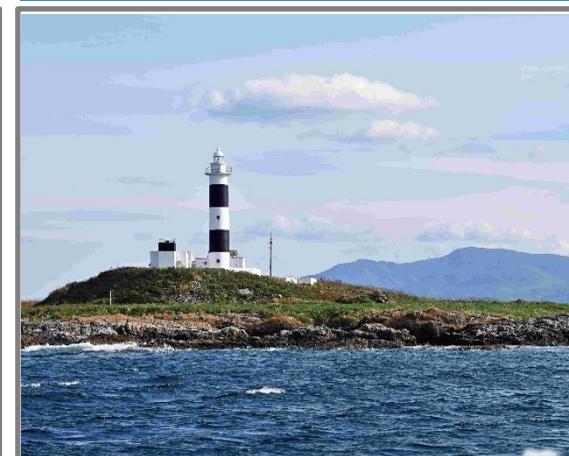
💡 クルーズの稼働を増やすため、運航日とダイヤを見直します

💡 親子体験会を開催し、ファミリー層にアプローチします

💡 内覧会やキャンペーンを実施し、関係事業者との連携を強化します

💡 灯台マニアミーティングを開催しコアなリピーターを創ります

💡 動画コンテンツを強化し、インスタにコミュニティーを形成します



事業名：日本一おもしろい灯台クルージングの開発と収益化

助成金終了後、本事業は新たな灯台利活用モデル事業が定義する「自走化4分類」のうち、以下を目指します

本事業が 目指す型	分類	自走化の方法	中心となる事業者
✓	I ビジネス型	灯台および付属施設等をホテルなどに利活用する、 または 灯台および周辺地域の魅力をコンテンツとして利活用することで、 <u>ビジネスとしての収益化を達成し、自走する。</u>	民間事業者
✓	II 非営利 収支均衡型	灯台及び周辺施設等を活用し、 イベント開催や観光ガイド等を組織しながら、主として、 <u>収支均衡となるような小規模の地域活性化事業を行い、 非営利団体として、自走する。</u>	非営利任意団体、 NPO等
	III 自治体 補助金型	自治体が主体となり、 新たに地域課題や観光資源の一つとして 灯台及び周辺施設等を位置づけることにより、 <u>自治体の予算やリソースが投入され、自走する。</u>	自治体
	IV お祭り協賛型	灯台に係るイベントを開催することで、 灯台を含むエリアの新たな価値と集客・PR効果を創造し、 <u>地元自治体や地域企業からの協賛金や、出店料、 参加者から入場料などの イベント収益によって、自走する。</u>	イベント事業者、 放送局

資料

■物販用オリジナルグッズ

★缶バッジ



65mm



32mm



★オリジナルTシャツ



PRツール

★公式サイト

本州最北端の地「大間崎」のさらに北「弁天島」を漁船でぐる～と1周する漁船の旅

完全予約制 30分の旅

大間崎灯台 弁天神社 弁天島 ゴジラ岩

本日の運航状況

8月22日

- ①11:00集合 ×
- ②12:30集合 ×
- ③14:00集合 ×

本日の運航はありません

news お知らせ

2024 1.20 本当の最北端はココだ！

2024 1.20 四方十川の流れに身を任せ、流れる雲の行先へ！

2024 1.20 四方十川の流れに身を任せ、流れる雲の行先へ！

2024 1.20 四方十川の流れに身を任せ、流れる雲の行先へ！

完全予約制

TEL:0175-37-5073

Yプロジェクト内クルーズ係 8:30～17:30

<https://omasaganacco.jp/cruise/>

★インスタグラム

9:41

shirokuro.oma

少数派の意見...

【本州最北端・大間崎】弁天島クルーズ

24 176 91
投稿 フォロワー フォロー中

大間崎から600m沖合に見える「大間崎灯台」を、海から見に行こう！

★夏期限定（7月～10月上旬）

★慣れた漁船しか行けない弁天島を1周... 続きを読む

omasaganacco.jp/cruise

プロフェッショナルダッシュボード

過去30日間に1,343回閲覧されました。

プロフィールを編集

プロフィールをシェア

新規 ハイライト 漁船クルーズ...

<https://www.instagram.com/shirokuro.oma/>

<https://www.instagram.com/shirokuro.oma/>

PRツール

★PR動画



★のぼり



★ポスター

大間崎 弁天島 クルーズ

本州の最北端 デシボと行く

大間崎灯台 「日本の灯台50選」に選定されてから100年以上たとう！

弁天神社 ここが本職、漁師の守り神！

ゴンベの楽園 本島の人口より 60%の方が多く住んでいてー！

ゴジラ岩 ゴジラのせなかに 見えるべさー！

複雑な海流 ベテラン漁師でなっば ぶっかぬー！

大間に来たら 海に出よう！ 本前は海がキレイなべー！

ご予約 お問い合わせ

完全予約制

30分の旅

灯台360° 楽しめる！

春漁丸

本州最北端の地 「大間崎」の さらに北にある 「弁天島」を漁船で ぐる〜と1周する 津軽海峡の30分の旅

【運航予定】2025
8月22日 10月26日
の金・土・日
●11:00集合
●12:30集合
●14:00集合

【所要時間】
約40分(クルーズ30分)

【料金】
大人3,000円(小学生以上)
小人2,000円(身長110センチ以上)
※大人に申し止に年齢関係があります。

【集合場所】
黒の岡(カラスノマ) 津港
大間崎から徒歩10分、車で1分の場所です。
のぼり旗が立派。

大間崎
カラスノマ 津港

日本海想 海と灯台と しろくろの灯台と シンクロするべ!

TEL:0175-37-5073

Yプロジェクト内:クルーズ係 (青森県下北郡大間町大間字松浦道11-7)

PRツール

★パンフレット

OMAZAKI BENTENISLAND CRUISE

【運航予定】2025
8月22日 11:00集合
10月26日 12:30集合
 14:00集合
 の金・土・日

【所要時間】
 約40分(クルーズは約30分)

【料金】
 大人:3,000円(中学生以上)
 小人:2,000円(身長110センチ以上)
 ※天候により中止になる場合があります。

【定員】
 7名 ※3名以上で運航となります

【対象】
 大人、身長110センチ以上の子ども
 ※小学生以下の場合は保護者の必ずお連れください。
 ※ベビーカーは乗船できません。

【お支払】
 当日、現地にて(現金のみ)

【集合場所】
 鳥の関(カラスノマ)漁港
 大間崎から徒歩10分
 車での到着です。
 のり鉄が目標。

ご注意・服装など
 ・現地にも船にもトイレはありません。必ずトイレを済ませてからお越しください。
 ・水しぶきが飛びます。タオル持参。濡れてもよい服装でいらっしゃるか、受付係にレインコート(300円)のご購入を。
 ・ハイヒールなどは危険ですので、動きやすくバランスのとりのやすい靴で、履き板にまたがっていただくので、ミニスカートも危険です。

【ご予約・お問合せ】 まずは、電話でご予約ください。
完全予約制
TEL:0175-37-5073 8:30~17:30
 Yプロジェクト内クルーズ係

Yプロジェクト(株)
 青森県下北郡大間町大間字船越道11-7
 この事業は、日本郵船株式会社(Yプロジェクト)の一環で実施しています。
 協賛 海と灯台 しろくろ灯台と海と灯台のシンクロするべ!

大間町 本州最北端おま

本州最北端の島をぐる〜とクルーズ!

大間崎弁天島クルーズ

大間の漁師 キャプテン デンボーと行く

完全予約制

本州最北端の島 弁天島

本州最北端の島

「本州最北端の島」大間崎。その沖合600m先にある周囲約4kmの島が、「本州最北端の島」弁天島です。島の周辺一帯は潮流が激しく、暗礁が点在する危険な海域。濃霧や吹雪のため針路を誤り座礁する船が少なくない難所です。その昔、島の沖で船が難破した場所に入り込んだ漁師が、弁天様を上げ、島に祀るようになったのが弁天神社の始まり。以来、漁師たちは手を合わせました。百歳くまりの「大間崎灯台」と、真っ赤な社の弁天神社。海の安全を守る船長のパチンコです。

大間崎灯台

おあそびさうじい

大間町

弁天島のしろくろ灯台

◎古来から、潮流や霧、暗礁の影響で多くの船が沈没した大間沖。海難事故防止のために建てられた大間崎灯台は、大正10(1921)年補助灯。夜は光。昼は白黒の塔体で、対岸の夕宮岬まで17.5kmしかない遠隔な国際海域の安全を守っています。
 ◎平成3年(1991年)までは、「灯台守」が不自由な履き暮らしをしながら灯台を保守した歴史も。1998年、全面3000以上の灯台から投票で「日本の灯台50選」に選ばれました。

本州最北端の島をぐる〜とクルーズ!

灯台360°C 楽しめる!

大間崎灯台 弁天島

大間に来たら海に出よう! 大間にもモシイタケ

大間崎灯台 弁天神社 弁天島

ゴジラ岩

キャプテン デンボー 弁天島辺りを走り回す。本業は漁師。釣り船をやることも。道を教わると体がかわくなる。

乗船記念

全日本360°の島の中から「日本の灯台50選」に、1921年から危険海域を航し続けてきた。かつての青森守本島の漁師が難船を助しにも思いを託して。

第十一春漁丸

4.8トンの漁船。普段は磯間ひ海城で、必ず必死漁をわしわし採る。白黒の船。白黒旗が目印。

漁船で行く30分の旅

しろくろ灯台がそびえ立つのは、大間崎のさらに北600m、外周4kmの弁天島。泳いで行けそう、って思っばさ? 周囲には岩礁やら激しく入り組んだ潮の流れがあって、慣れ親しんだ漁師でなければ近づけない危険地帯。だから、漁船に乗って行く! 漁師の目になって、海と灯台を味わい尽くす、ぐる〜と1周クルーズしよう!

カラスノマに集合

受付して

準備完了、乗船だぞー

弁天神社の本殿に

しろくろ灯台を全方位から

「鳥の関」は漁師、クルーズ船の前まで来てくれます。

乗船準備のための住所などを記入して、乗船料をお支払ください。

ライフジャケットを付けて、乗り込み、ちょっとだけ漁船探検。

灯台とパチンコで海を守る弁天神。漁師たちも手を合わせる場所。

乗船記念

「鳥の関」は漁師、クルーズ船の前まで来てくれます。

ゴジラの背中が!

スプラッシュいぐ?

下船記念写真

灯台管理が無理にならぬ今はゴジラ(のみモとクミメコ)の楽園よ。

エンジンがかして回遊! 超一危険な船「シラガベイ船」。

キャプテンが扶さしてくれます。誘いに乗ったれもれなく泳ぎます!

あっという間の30分! キャプテンを連れて記念のパチンコ。